

第2章

地域別の景観形成の方針

この章では、地域の個性を高めまとまりある景観を形成するために、市域を土地利用などの景観特性から6つに分割し、地域ごとの景観形成方針を示しています。

2-1 地域の区分と景観要素の分類

2-2 地域別の景観形成方針

2-1 地域の区分と景観要素の分類

ここでは、地域の景観特性と調和した魅力的でまとまりある景観を形成するために、市域を土地利用や地形、自然状況などの景観特性から6つに分割し、地域ごとの景観形成方針を示しています。

(1) 地域の区分

区分		地域の概況
1	里山の景 ～東部丘陵地域～	石巻山のある弓張山地や、そのふもとに広がる柿畑をはじめとした田園など、里山の景観が見られる市東部の丘陵地
2	川の景 ～豊川沿川地域～	河畔林などの豊かな自然のある豊川と、その周辺に広がる水田など、川を中心とした景観が見られる市北部の沿川地域
3	港の景 ～三河湾沿岸地域～	三河湾に面した臨海部の工業地帯や、渡り鳥が飛び交う汐川干潟など、港を中心とした景観が見られる市西部の沿岸地域
4	まちの景 ～市街地地域～	豊橋駅周辺の中心市街地や、その周辺部に広がる落ち着いた住宅地などの、まちの景観が見られる市中央部の市街地地域
5	農の景 ～南部田園地域～	なだらかな起伏を有する丘陵地に、キャベツ畑などの広大な農地の景観が見られる市南部の田園地域
6	海の景 ～表浜沿岸地域～	太平洋に面した美しい砂浜と緑豊かな海岸林など、雄大な海の景観が見られる市南部の沿岸地域



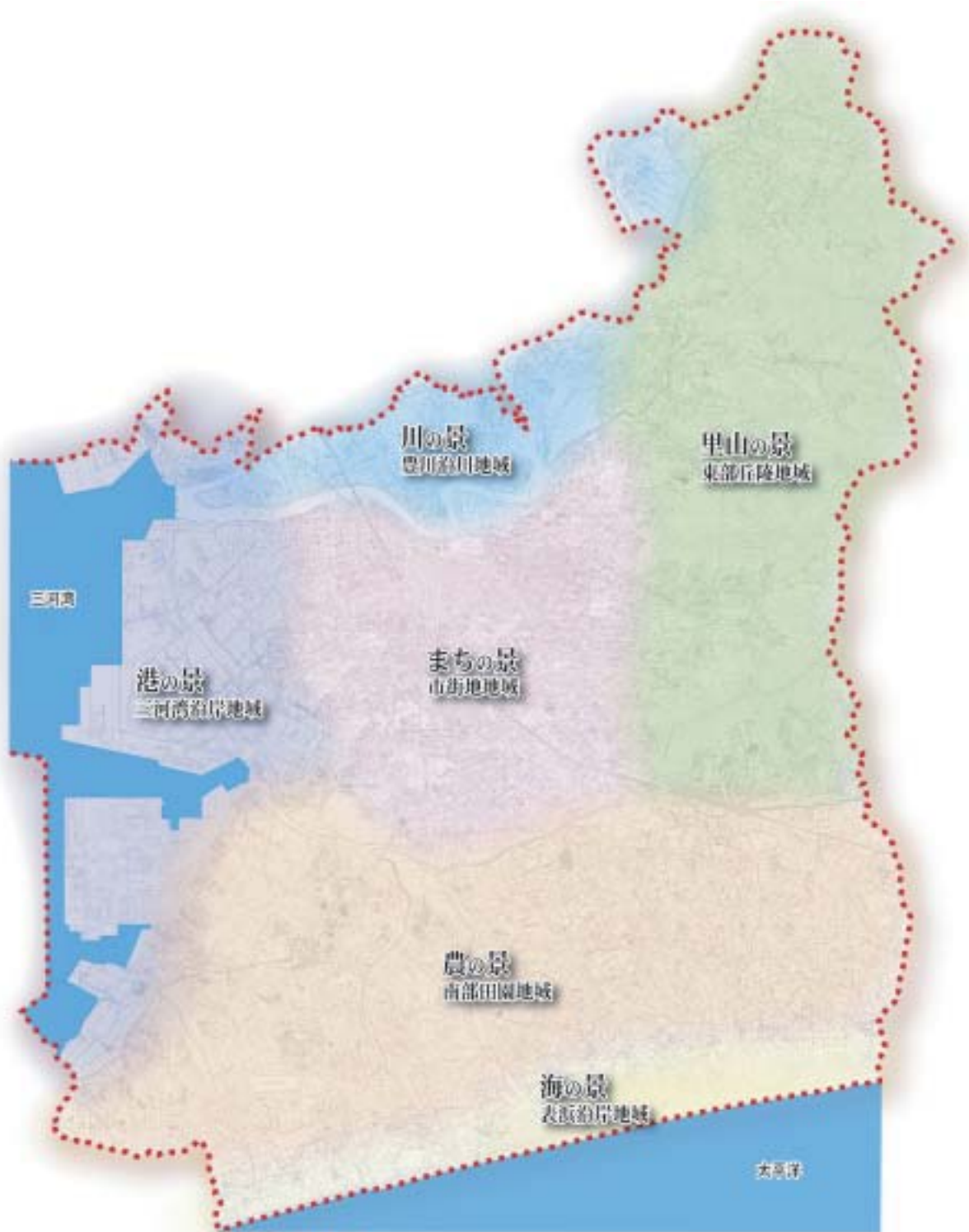


図 景観形成の地域区分

(2) 景観要素の分類

「地域別の景観形成方針」では、各地域における景観形成の方向性を示すとともに、その方向性の実現に向けて実施すべき主な景観要素ごとの配慮事項も整理しています。

景観要素は、第1章の「景観形成の基本目標」で示した「自然」「歴史」「生活」「産業」に沿って以下のように分類しています。

基本目標	景観要素
 自然 多様な自然と共生した安らぎのある景観	<ul style="list-style-type: none"> ○山 ○河川 ○海浜・干潟 ○湿地 ○巨木・名木
 歴史 歴史を伝え文化を感じる風格のある景観	<ul style="list-style-type: none"> ○旧街道・歴史的なまち並み ○文化財等 ○神社仏閣
 生活 暮らしの中にふるさとも感じる落ち着きのある景観	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅地 ○公園・緑地 ○祭り・伝統行事
 産業 賑わいと活力を感じる魅力ある景観	<ul style="list-style-type: none"> ○道路 ○鉄道・駅 ○港 ○商業・業務系 ○工業系 ○農業系 ○漁業系 ○大規模施設

2-2 地域別の景観形成方針



(1) 里山の景観 ～東部丘陵地域～

■景観特性

市街地から眺めると美しい三角形の姿をした石巻山のある弓張山地と、そのふもとに広がる柿畑などの田園により形成されています。

地域の中には、^{いもろ}葦毛湿原やイヌツゲ群生林などの貴重な自然景観が点在するとともに、馬越長火塚古墳をはじめとする古墳群や普門寺などの社寺も数多く存在し、歴史の趣きある里山の景観をつくりだしています。



■石巻山のふもとに広がる柿畑

■地域別の景観形成方針

歴史と文化を継承した、ふるさとも感じる里山景観の保全

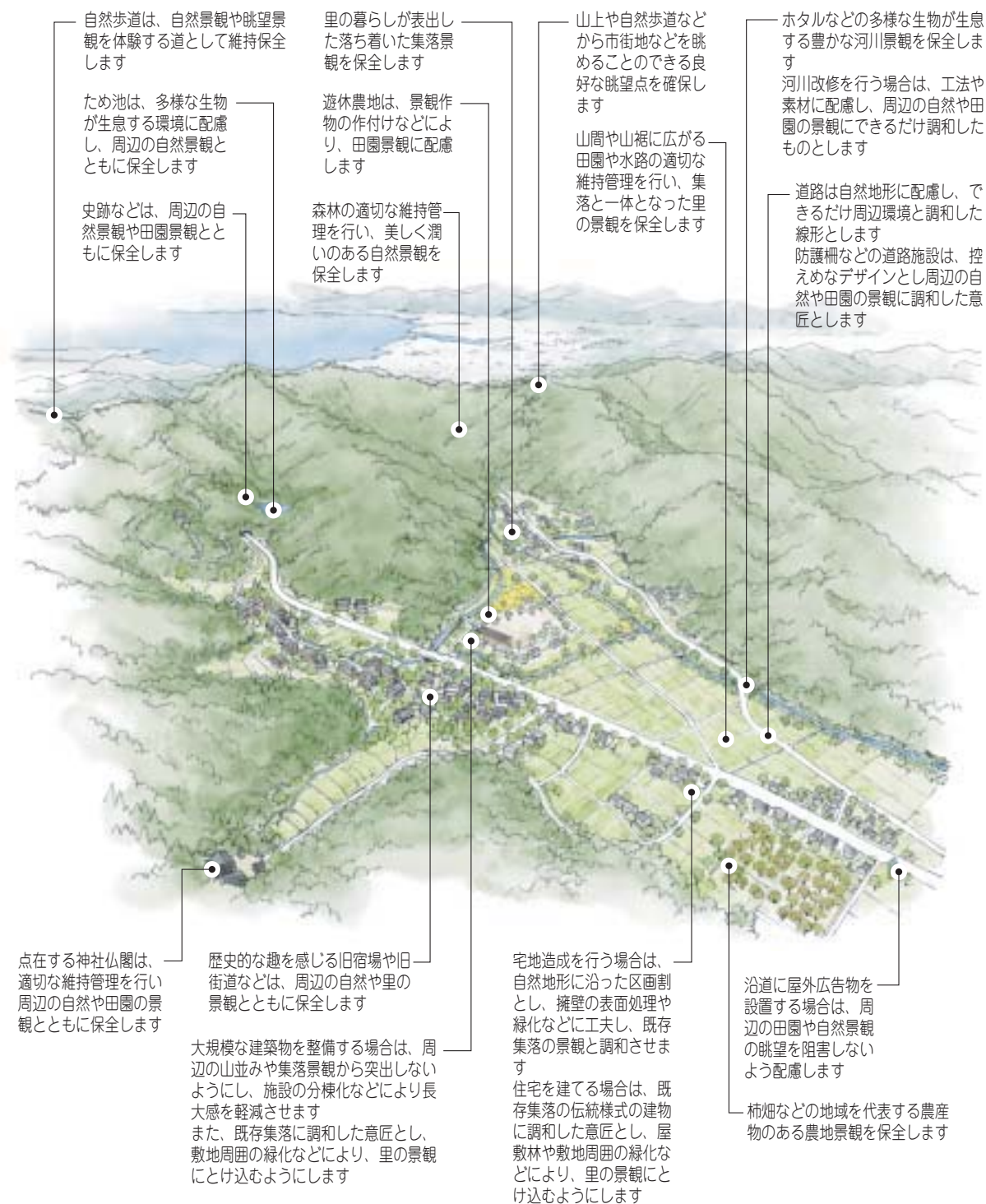
古くから霊峰として崇められてきた美しい姿の石巻山を「まちの自然のシンボル」とし、弓張山地の美しい山並みと、風土に根ざして形づくられた里山の景観を保全します。また、葦毛湿原をはじめとした貴重な自然や点在する歴史的資源を周辺景観と一体的に保全し、地域の歴史と風土を継承した落ち着いた景観を形成します。人工物は、里山の景観にとけ込むよう配慮します。



■里山のふもとに広がる田園と落ち着いた集落(岩崎町)

■景観配慮イメージ図

※この図の場所は、地域全体の特徴的な景観を集約して表現した仮想のものです。図中に示した配慮事項は、方針を実現するための一例です。



■要素別の景観形成の配慮事項

	景観要素	景観形成の配慮事項	主な景観資源
自然景観	山	<p>○市街地の背景となっている東部丘陵の山並みを保全します。</p> <p>○美しい姿をした石巻山は、まちの自然のシンボルとして位置づけし、山頂の石灰岩地植物群落は貴重な自然景観として保全します。</p> <p>○森林の適切な維持管理を行い、美しく潤いのある自然景観を保全します。</p> <p>○点在する貴重な植物群落は、貴重な自然景観として保全します。</p> <p>○山上や自然歩道から市街地などを眺めることのできる良好な眺望点を確保します。</p>	弓張山地 石巻山 吉祥山 <small>きちじょうざん</small> 神石山 船形山 石巻山石灰岩地植物群落 イヌツゲ群生林 モミ群生林 城山（カタクリ山）
	湿地	<p>○貴重な湿性植物の自生する葦毛湿原は、本市の重要な自然景勝地として、背後の山並みや周辺の雑木林の景観とともに保全します。</p>	葦毛湿原
	河川	<p>○ホタルなどの多様な生物が生息する豊かな河川景観を保全します。</p> <p>○親水性が必要な河川改修を行う場合は、工法や素材に配慮し、周辺の自然や田園の景観にできるだけ調和したものとします。</p>	朝倉川 内山川 神田川 長彦川
	巨木・名木	<p>○巨木・名木は、周辺の自然景観や社寺などの歴史的景観とともに保全します。</p>	長楽のヒノキ 普門寺の大スギ 玉泉寺のナギ
歴史景観	旧街道・歴史的なまち並み	<p>○歴史的な趣を感じる旧嵩山宿や旧姫街道などは、周辺の自然や里の景観とともに保全します。</p>	旧姫街道 旧嵩山宿
	文化財等	<p>○国指定史跡である嵩山蛇穴は、周辺の自然景観とともに保全します。</p> <p>○馬越長火塚古墳などの古墳は、周辺の田園景観とともに保全します。</p>	嵩山蛇穴 馬越長火塚古墳
	神社仏閣	<p>○点在する神社仏閣は、適切な維持管理を行い、周辺の自然や田園の景観とともに保全します。</p> <p>○鎮守の森を適切に維持管理し、緑豊かな景観を保全します。</p>	普門寺 正宗寺 赤岩寺 鞍掛神社 浅間神社 賀茂神社

生活景観	住宅地	<p>○里の暮らしが表出した落ち着いた集落景観を保全します。</p> <p>○宅地造成を行う場合は、自然地形に沿った区画割とし、擁壁の表面処理や緑化などに工夫し、既存集落の景観と調和させます。</p> <p>○住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、屋敷林や敷地周囲の緑化などにより、里の景観にとけ込むようにします。</p>	<p>石巻中山町の集落 嵩山町の集落 岩崎町の集落 雲谷町の集落</p>
	公園・緑地	<p>○緑地は適切な維持管理を行い、美しく潤いのある四季の自然景観に親しめる場として保全します。</p> <p>○ため池は、多様な生物が生息する豊かな水辺景観を保全します。</p>	<p>赤岩山緑地 岩屋緑地 岩崎広場 利兵池公園 賀茂しょうぶ園</p>
産業景観	道路	<p>○道路は自然地形に配慮し、できるだけ周辺景観と調和した線形とします。</p> <p>○防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし、周辺の自然や田園の景観に調和した意匠（低彩度の色彩など）とします。</p> <p>○自然歩道は、自然景観や眺望景観を体験する道として維持保全します。</p> <p>○沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。</p>	<p>国道 362 号 東三河環状線 豊橋自然歩道</p>
	工業系	<p>○敷地内の緑化で潤いを出し、周辺の景観と調和するよう配慮します。</p>	—
	農業系	<p>○柿畑などの地域を代表する農産物のある農地景観を保全します。</p> <p>○山間や山裾に広がる田園や水路の適切な維持管理を行い、集落と一体となった里の景観を保全します。</p> <p>○遊休農地[*]は、景観作物の作付けなどにより、田園景観に配慮します。</p>	<p>果樹園地帯(柿畑)</p>
	大規模施設	<p>○周辺の山並みや集落景観から突出しないようにし、施設の分棟化などにより長大感を軽減させます。また、既存集落に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、敷地周囲の緑化などにより、里の景観にとけ込むようにします。</p> <p>○大規模な工作物を整備する場合は、工法や素材、色彩などに配慮し、緑化を施すなど、周辺の自然や田園の景観にとけ込むようにします。</p>	—

※印のある用語は巻末に解説を掲載しています。



(2) 川の景 ～豊川沿川地域～

■ 景観特性

清らかに水をたたえて流れる豊川と、これに沿って広がる水田などの田園により形成されています。

豊川は全国屈指の清流で、中心市街地にある吉田城址の横をゆったりと蛇行し、まちに潤いをもたらしながら三河湾へ流れています。吉田城址より上流部は河畔林みほとりに覆われており、沿川の田園景観の緑の背景となっています。また、江戸時代に治水のために設けられた霞堤かすみでいと呼ばれる不連続な堤防が見られます。



■ 河畔林に覆われた豊川(牛川町からの眺め)

■ 地域別の景観形成方針

河畔林に覆われた豊かな水の流れと、広がりのある田園景観の保全

地域の歴史を育んだ母なる豊川の流れと河畔林のある水辺の景観を大切にするとともに、人工河川である豊川放水路はヨシなどにより自然に近い景観形成を図ります。また、段丘の斜面緑地などの自然を大切にし、これらを背景にした落ち着いた集落の景観と広がりのある田園景観を保全します。

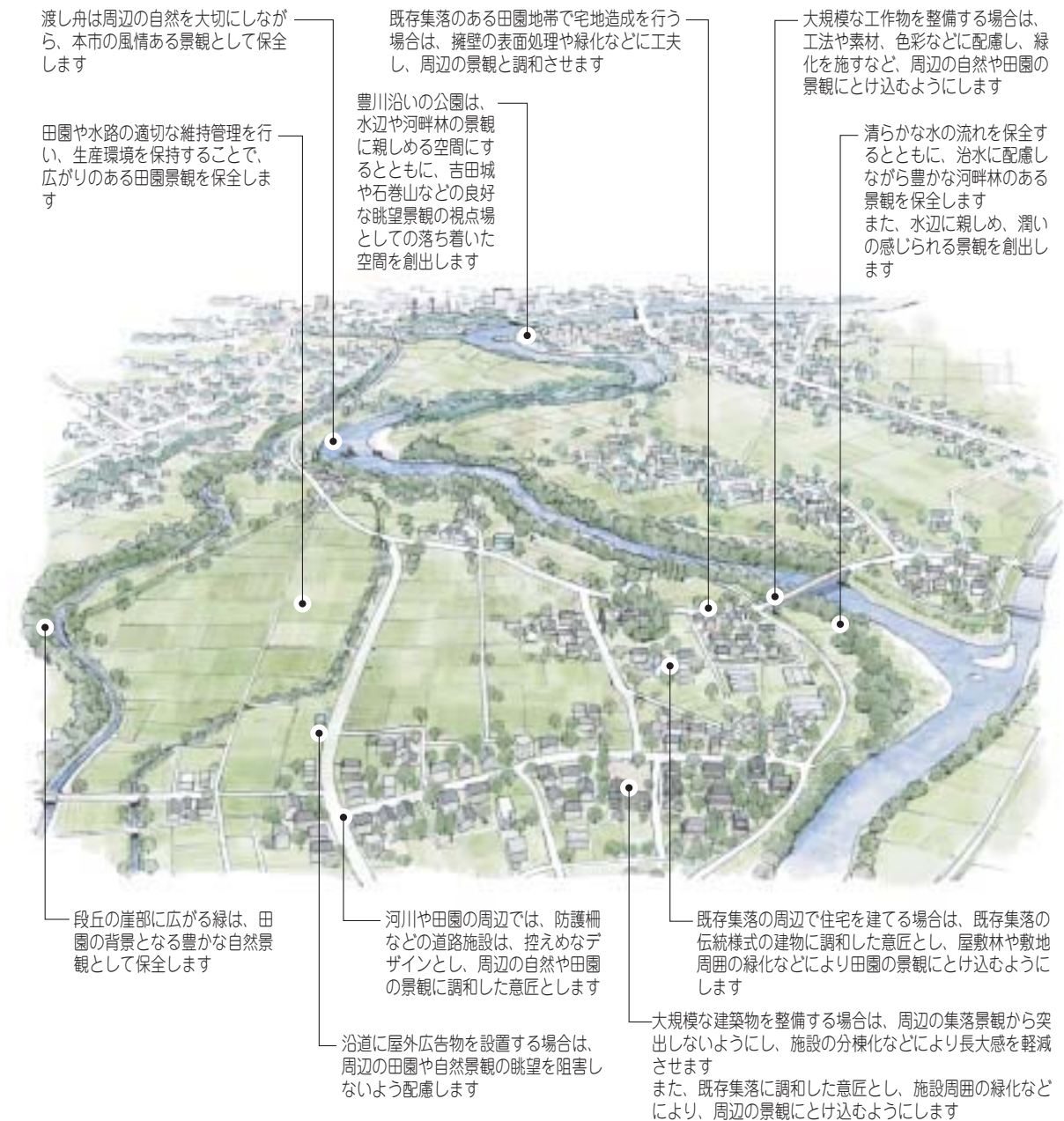
人工物は、自然の背景や田園にとけ込むよう配慮します。



■ 豊川沿川に広がる水田と屋敷林に囲まれた、落ち着いた集落(下条東町)

■景観配慮イメージ図

※この図の場所は、地域全体の特徴的な景観を集約して表現した仮想のものです。図中に示した配慮事項は、方針を実現するための一例です。



■要素別の景観形成の配慮事項

	景観要素	景観形成の配慮事項	主な景観資源
自然景観	河川	<p>○豊川は、清らかな水の流れを保全するとともに、治水に配慮しながら豊かな河畔林のある景観を保全します。また、水辺に親しめ、潤いの感じられる景観を創出します。</p> <p>○人工河川である豊川放水路は、ヨシなどにより自然の潤いの感じられる景観を創出します。</p> <p>○親水性が必要な河川改修を行う場合は、工法や素材に配慮し、周辺の自然や田園の景観にできるだけ調和したものとします。</p> <p>○段丘の崖部に広がる緑は、田園の背景となる豊かな自然景観として保全します。</p>	豊川 河畔林 豊川放水路 段丘の斜面緑地
歴史景観	文化財等	○歴史的建造物や史跡は、適切な維持管理を行い保全します。	前芝の燈明台 瓜郷遺跡
	神社仏閣	○点在する神社仏閣は、適切な維持管理を行い、周辺の鎮守の森などとともに保全します。	—
生活景観	住宅地	<p>○既存集落の落ち着いた景観は、周辺の田園とともに一体的に保全します。</p> <p>○既存集落のある田園地帯で宅地造成を行う場合は、擁壁の表面処理や緑化などに工夫し、周辺の景観と調和させます。</p> <p>○既存集落の周辺で住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、屋敷林や敷地周囲の緑化などにより田園の景観に近づけようとしています。</p>	賀茂町の集落 下条東町・下条西町の集落 大村町の集落
	公園・緑地	○下地緑地など豊川沿いの公園・緑地は、水辺や河畔林の景観に親しめる空間にするとともに、吉田城や石巻山などの良好な眺望景観の視点場としての落ち着いた空間を創出します。	下地緑地（ <small>こんじきしま</small> 金色島）

産業景観	道路	<p>○道路は自然地形に配慮し、できるだけ周辺環境と調和した線形とします。</p> <p>○河川や田園の周辺では、防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし、周辺の自然や田園の景観に調和した意匠（低彩度の色彩など）とします。</p> <p>○橋梁を整備する場合は、河川や緑などの自然景観と調和したものとします。</p> <p>○牛川の渡しは、周辺の自然を大切にしながら、本市の風情ある景観として保全します。</p> <p>○沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。</p>	牛川の渡し 国道1号 東三河環状線
	商業・業務系	○田園や河川の周辺で店舗や事務所などを建てる場合は、周辺の景観に調和するよう配慮します。	—
	工業系	○敷地内の緑化で潤いを出し、周辺の景観と調和するよう配慮します。	—
	農業系	<p>○田園や水路の適切な維持管理を行い、生産環境を保持することで、広がりのある田園景観を保全します。</p> <p>○遊休農地[*]は、景観作物の作付けなどにより、田園景観に配慮します。</p>	下条の田園
	大規模施設	<p>○既存集落の周辺で大規模な建築物を整備する場合は、集落景観から突出しないようにし、施設の分棟化などにより長大感を軽減させます。また、既存集落に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、敷地周囲の緑化などにより、周辺の景観にとけ込むようにします。</p> <p>○大規模な工作物を整備する場合は、工法や素材、色彩などに配慮し、緑化を施すなど、周辺の自然や田園の景観にとけ込むようにします。</p> <p>○石巻山などを眺めることができる場所で大規模施設を整備する場合は、その眺望を阻害しないよう、施設の高さや形状、色彩などに配慮します。</p>	—

※印のある用語は巻末に解説を掲載しています。



(3) 港の景 ～三河湾沿岸地域～

■ 景観特性

三河湾の埋め立てによりつくられた港のある工業地帯と、神野新田の広がりある水田地帯により形成されています。河口部の水辺には、一年を通して渡り鳥が訪れる豊かな生態系のある汐川干潟や六条潟が広がっており、近年では三河湾に面して緑豊かな総合スポーツ公園の整備が進められています。また、三十三観音などの歴史資源も見られます。



■ 渡り鳥が訪れる汐川干潟

■ 地域別の景観形成方針

水辺の自然や田園と調和した活力ある港の景観の形成

世界に開けた港のある臨海部の工業地帯では、産業活動による活力を感じる景観を形成します。また、周辺では神野新田の広がりのある田園景観や豊かな生態系のある干潟の景観を保全します。地域全体では、緑化により潤いを創出し、産業活動と自然が調和した景観を形成します。

人工物は、緑化や人工海浜などにより、自然や田園と調和するよう配慮します。



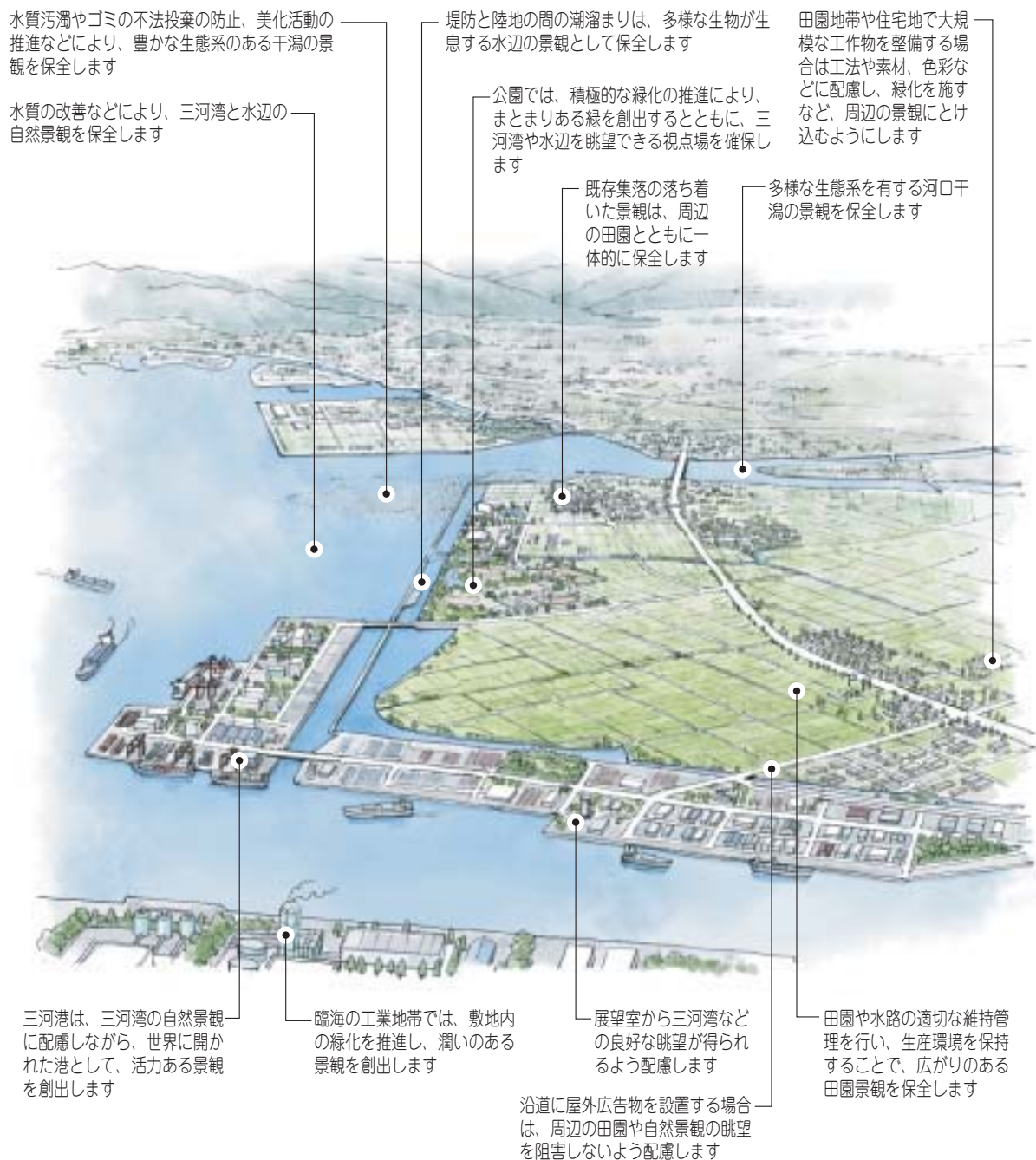
■ 神野新田に広がる水田



■ ポートインフォメーションセンターからの三河港の眺め

■景観配慮イメージ図

※この図の場所は、地域全体の特徴的な景観を集約して表現した仮想のものです。図中に示した配慮事項は、方針を実現するための一例です。



■要素別の景観形成の配慮事項

	景観要素	景観形成の配慮事項	主な景観資源
自然景観	河川	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な生物が生息する豊かな河川景観を保全します。 ○親水性が必要な河川改修を行う場合は、工法や素材に配慮し、周辺の自然や田園の景観にできるだけ調和したものとします。 	切畑川
	海浜・干潟	<ul style="list-style-type: none"> ○水質の改善などにより、三河湾と水辺の自然景観を保全します。 ○水質汚濁やゴミの不法投棄の防止、美化活動の推進などにより、豊かな生態系のある干潟の景観を保全します。 	三河湾 汐川干潟 六条潟 前芝海岸 よしぎき 吉前海岸
歴史景観	文化財等	<ul style="list-style-type: none"> ○堤防上にある三十三観音は、新田開発を偲ばせる歴史的景観資源として適切に保全します。 	三十三観音
生活景観	住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○既存集落の落ち着いた景観は、周辺の田園とともに一体的に保全します。 ○既存集落の周辺で住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、敷地周囲の緑化などにより田園の景観にとけ込むようにします。 ○宅地造成を行う場合は、周辺の田園景観に調和するよう配慮します。 	神野新田町の集落 梅藪町の集落
	公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ○総合スポーツ公園では、積極的な緑化の推進により、まとまりある緑を創出するとともに、三河湾や水辺を眺望できる視点場を確保します。 ○堤防と陸地間の潮溜りは、多様な生物が生息する水辺の景観として保全します。 ○埋立地などに緑地を適切に配置することで、緑が不足しがちな場所に潤いや安らぎのある景観を創出します。 ○緩衝緑地帯の適切な保全を行い、工業地帯による景観上の影響を和らげます。 	総合スポーツ公園 明海緩衝緑地

産業 景観	道路	<p>○防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし、周辺の自然や田園の景観に調和した意匠（低彩度の色彩など）とします。</p> <p>○橋梁を整備する場合は、周辺の自然や田園の景観に調和したものとします。</p> <p>○沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。</p>	<p>国道 23 号 国道 23 号バイパス ベイブリッジウェイ 三河港大橋</p>
	港	<p>○三河港は、三河湾の自然景観に配慮しながら、世界に開かれた港として、活力ある景観を創出します。</p> <p>○ポートインフォメーションセンターの周辺では、展望室から三河湾などの良好な眺望が得られるよう配慮します。</p>	三河港
	商業・業務系	<p>○田園の周辺で店舗や事務所などを建てる場合は、周辺の景観に調和するよう配慮します。</p>	—
	工業系	<p>○工業地帯では、敷地内の緑化を推進し、潤いのある景観を創出します。</p>	—
	農業系	<p>○田園や水路の適切な維持管理を行い、生産環境を保持することで、広がりのある田園景観を保全します。</p> <p>○遊休農地[*]は、景観作物の作付けなどにより、田園景観に配慮します。</p>	神野新田町の水田
	大規模施設	<p>○田園地帯や住宅地で大規模な建築物を整備する場合は、周辺の集落等の景観から突出しないようにし、施設の分棟化などにより長大感を軽減させます。また、既存集落等に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、敷地周囲の緑化などにより、周辺の景観にとけ込むようにします。</p> <p>○田園地帯や住宅地で大規模な工作物を整備する場合は、工法や素材、色彩などに配慮し、緑化を施すなど、周辺の景観にとけ込むようにします。</p>	—

※印のある用語は巻末に解説を掲載しています。



(4) まちの景 ～市街地地域～

■景観特性

中高層建築物が集積した豊橋駅周辺の商業業務地と、その周辺部に広がる落ち着いた住宅地により形成されています。

豊橋駅前からは、東部の住宅地に向けて路面電車が走り、本市固有の趣ある景観が見られます。

また、地域全体には伝統行事のある社寺など、多くの歴史・文化の資源が点在するとともに、緑豊かな公園や街路樹がまちに潤いをもたらしています。



■くすのき通り

■地域別の景観形成方針

緑と水の潤いを感じる、魅力ある都市景観の形成

豊橋駅周辺の中心市街地では、東三河の顔として夜景にも配慮した賑わいと活力を感じる都市景観を創出し、周辺の住宅地では、暮らしの場として落ち着きと安らぎを感じる景観を形成します。地域全体では、点在する歴史や文化の資源を活かし、ユニバーサルデザイン^{*}に配慮したまちづくりを進めながら、公園や河川において緑と水に親しめる空間を創出し、民地も含めた緑化を推進することにより、暮らしの中に潤いを感じる魅力ある景観を形成します。

人工物は、統一感のあるまち並み景観を目指し、周辺との調和に配慮します。



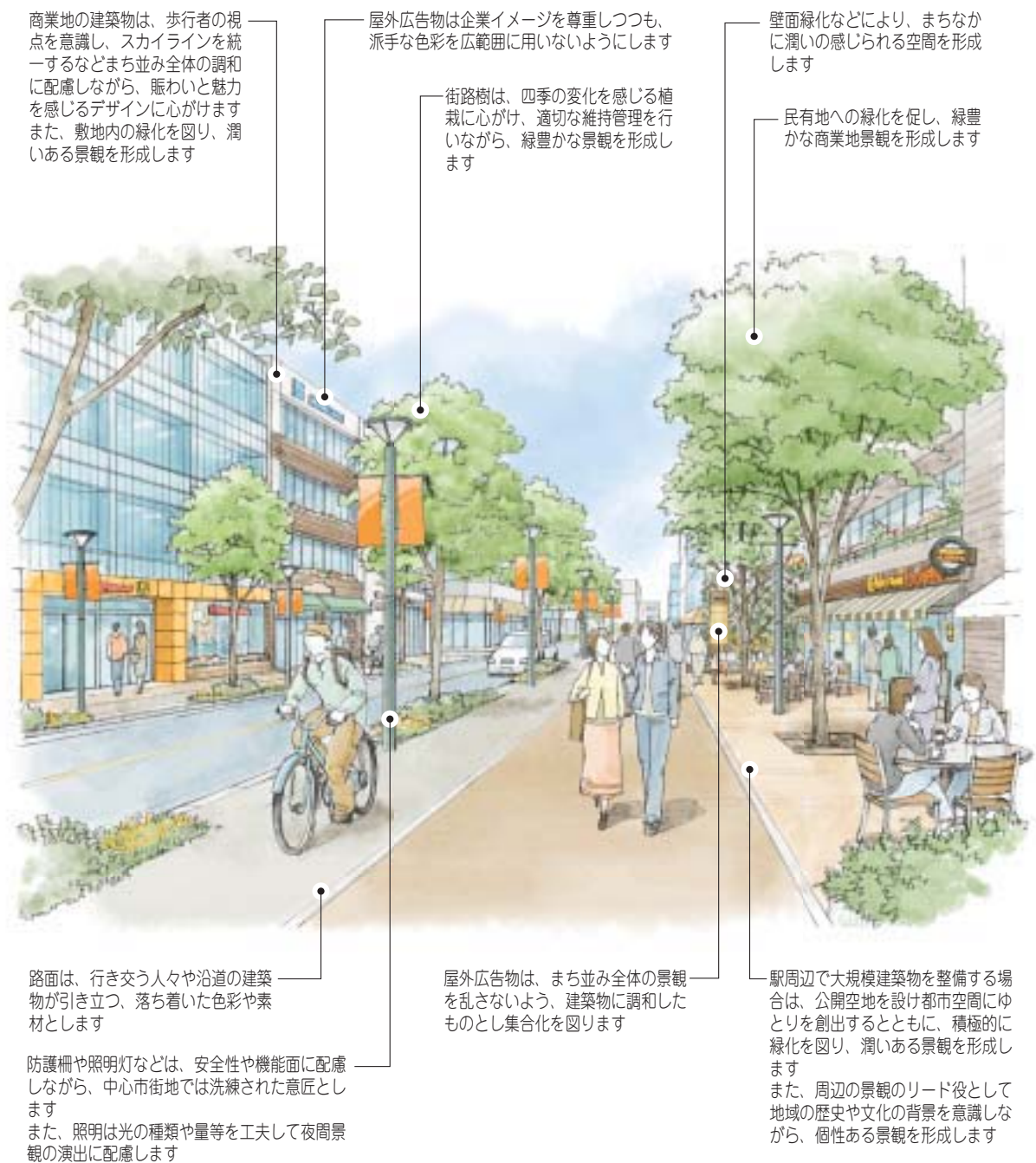
■松葉公園とカリオンビル



■路面電車の走る駅前大通り

■景観配慮イメージ図（商業地）

※この図の場所は、地域全体の特徴的な景観を集約して表現した仮想のものです。図中に示した配慮事項は、方針を実現するための一例です。



このイメージ図は、普通自転車が歩道を通行することができる「自転車及び歩行者専用」の道を描いています。

※印のある用語は巻末に解説を掲載しています。



■広小路通りの夜景



■風格のある公会堂



■緑豊かな住宅地

■景観配慮イメージ図（住宅地）

※この図の場所は、地域全体の特徴的な景観を集約して表現した仮想のものです。図中に示した配慮事項は、方針を実現するための一例です。

公園は生物多様性に配慮しながら四季の変化を感じられる緑化に心がけ、河川と連携し、緑と水に親しめる拠点としての景観を形成します

住宅は、東部丘陵などの背景が間近にある場合は、自然と調和した落ち着いた意匠（低彩度の色彩など）とします

宅地開発を行う場合は、まち並みの中に緑を計画的に配置し、潤いと安らぎを感じる景観を形成します



緑が不足する地域には適切に公園を配置し、潤いのある暮らしの景観を創出します
東部丘陵の山並みや周辺の景観資源などを意識し、良好な眺望景観の視点場としての落ち着いた空間を創出します
また、民地や道路の緑とのつながりを意識し周辺と一体感のある景観を創出します

路面は、行き交う人々や沿道の建築物が引き立つ、落ち着いた色彩や素材とします

住宅は、隣り合う建築物との調和に心がけ、敷地内の緑化を図ることにより、潤いと安らぎを感じるまち並み景観を形成します

■要素別の景観形成の配慮事項

	景観要素	景観形成の配慮事項	主な景観資源
自然景観	河川	<p>○豊川をはじめとした河川は、公園の緑などと連携し、水と緑に親しめ、潤いや安らぎを感じる景観を形成します。</p> <p>○河川改修を行う場合は、工法や素材に配慮し、自然にできるだけ配慮したものとします。</p> <p>○段丘の崖部に広がる緑は、市街地を縁どる自然景観として保全します。</p>	<p>豊川（豊川放水路）</p> <p>朝倉川</p> <p>柳生川</p> <p>牟呂用水</p> <p>段丘の斜面緑地</p>
	文化財等	<p>○歴史的建造物は、適切な維持管理を行うとともに、これらに調和した周辺の景観を形成します。</p>	<p>吉田城址</p> <p>ハリストス正教会公会堂</p> <p>湊築島弁天社</p> <p>愛知大学旧本館</p> <p>牟呂発電所址</p>
歴史景観	神社仏閣	<p>○点在する神社仏閣は、適切な維持管理を行うとともに、これらに調和した周辺の景観を形成します。</p> <p>○鎮守の森を適切に維持管理し、緑豊かな景観を保全します。</p>	<p>あくみかんべ 安久美神戸神明社</p> <p>羽田八幡宮</p> <p>牟呂八幡社</p> <p>幸神社</p>
生活景観	住宅地	<p>○宅地開発を行う場合は、まち並みの中に緑を計画的に配置し、潤いと安らぎを感じる景観を形成します。</p> <p>○住宅は、隣り合う建築物との調和に心がけ、敷地内の緑化を図ることにより、潤いと安らぎを感じるまち並み景観を形成します。また、東部丘陵などの背景が間近にある場合は、自然と調和した落ち着いた意匠（低彩度の色彩など）とします。</p>	—
	公園・緑地	<p>○公園は、生物多様性※に配慮しながら四季の変化を感じられる緑化に心がけ、河川などと連携し、緑と水に親しめる拠点としての景観を形成します。</p> <p>○緑が不足する地域には適切に公園を配置し、潤いのある暮らしの景観を創出します。</p> <p>○東部丘陵の山並みや周辺の景観資源などを意識し、良好な眺望景観の視点場としての落ち着いた空間を創出します。また、民地や道路の緑とのつながりを意識し、周辺と一体感のある景観を創出します。</p>	<p>豊橋公園</p> <p>高師緑地</p> <p>向山緑地</p> <p>幸公園</p> <p>岩田運動公園</p> <p>牛川遊歩公園</p>

	祭り・伝統行事	<p>○歴史的な祭りや伝統行事の開催地周辺は、行事の背景にふさわしい趣のある景観を形成します。</p> <p>○市民の生活の一部となっている朝市や納涼祭(夜店)は、本市の風情ある景観として保全します。</p>	<p>鬼祭 祇園祭 朝市 納涼祭(夜店) 羽田祭 花祭り</p>
産業景観	道路	<p>○防護柵や照明灯などは、中心市街地では、洗練された意匠とし、住宅地では、安全性に配慮しながら、周辺の環境にとけ込む意匠とします。</p> <p>また、照明は光の種類や量などを工夫し、夜間景観の演出に配慮します。</p> <p>○路面は、行き交う人々や沿道の建築物が引き立つ落ち着いた色彩や素材とします。</p> <p>○街路樹は、四季の変化を感じる植栽に心がけ、自然樹形仕立てにより適切な維持管理を行いながら、緑豊かな景観を形成します。</p> <p>○橋梁を整備する場合は、周囲の自然や住環境などとの調和に配慮します。</p> <p>○沿道に屋外広告物を設置する場合は、まち並み景観を損なわないよう配慮するとともに、眺望を阻害しないようにします。</p>	<p>国道1号 国道23号(ケヤキ並木) 国道259号 東三河環状線 駅前大通り くすのき通り</p>
	鉄道・駅	<p>○豊橋駅では、東三河の顔としての風格ある景観を創出するため、駅前広場において、四季の変化を感じられる緑化に心がけ、広告物や工作物のむやみな設置を慎みます。また、駅前広場やプラットフォームなどからの眺めを意識し、周辺の再開発事業等においては、夜景も含めて景観配慮に努めます。</p> <p>○路面電車は、市街地の景観を印象づける「まちの動くシンボル」として位置づけ、車輜や軌道施設が沿線のまち並みと調和したものとなるよう配慮します。</p> <p>○高架構造物などの鉄道施設は、周辺の景観に調和するよう配慮します。</p> <p>○鉄道沿いに屋外広告物を設置する場合は、まち並み景観を損なわないよう配慮するとともに、車窓からの眺望を阻害しないようにします。</p>	<p>豊橋駅 JR東海道新幹線 JR東海道本線・飯田線 名鉄名古屋本線 豊橋鉄道渥美線 豊橋鉄道東田本線 (路面電車)</p>

	商業・業務系	<p>○商業地の建築物は、歩行者の視点を意識し、スカイラインを統一するなどまち並み全体の調和に配慮しながら、賑わいと魅力を感じるデザインに心がけます。また、敷地内の緑化を図り、潤いある景観を形成します。</p> <p>○駅前商業地に建つ建築物などは、ショーウィンドウや建築物などの照明を工夫し、美しく魅力的な夜間景観を形成します。</p> <p>○屋外広告物は、まち並み全体の景観を乱さないよう、建築物に調和したものとし、集合化を図ります。</p>	豊橋駅前の商業地 藤沢町周辺の商業地
	工業系	<p>○敷地内の緑化で潤いを出し、周辺の景観と調和するよう配慮します。</p> <p>○住宅地が隣接する場合は、建築物や工作物を住宅地の景観と調和した意匠（落ち着いた素材や色彩など）にするとともに、敷地周囲の緑化に心がけます。</p>	—
	農業系	<p>○市街地に潤いをもたらす緑として、農地の適切な維持管理をします。</p>	—
	大規模施設	<p>○豊橋駅周辺で大規模建築物を整備する場合は、公開空地*を設け都市空間にゆとりを創出するとともに、積極的に緑化（植樹、壁面緑化、屋上緑化など）を図り、潤いある景観を形成します。また、周辺の景観のリード役として、地域の歴史や文化の背景を意識しながら、個性ある景観を形成します。</p> <p>○住宅地で大規模な建築物を整備する場合は、周辺のまち並み景観から突出しないようにし、施設の分棟化などにより長大感を軽減させます。また、住宅地に調和した意匠（低彩度の色彩など）とし、敷地周囲の緑化などにより、周辺の景観にとけ込むようにします。</p> <p>○大規模な工作物を整備する場合は、工法や素材、色彩などに配慮し、緑化を施すなど、周辺の景観にとけ込むようにします。</p> <p>○石巻山などを眺めることができる場所で大規模施設を整備する場合は、その眺望を阻害しないよう、施設の高さや形状、色彩などに配慮します。</p>	—

		○大規模な建築物や工作物を整備する場合は、必要に応じて光の演出を行い、夜間のまち並み景観に対して配慮します。	
--	--	--------------------------------------------------------	--



(5) 農の景 ～南部田園地域～

■ 景観特性

ゆるやかな起伏のある大地にパッチワークのように広がるキャベツ畑などの田園により形成されています。田園地帯には、集落や社寺が点在し、鎮守の森などの平地林が田園の背景になっています。

また、旧東海道二川宿や東観音寺とうかんのんじなどの歴史的な景観や、緑豊かな総合動植物公園の景観も見られます。



■ 広大なキャベツ畑

■ 地域別の景観形成方針

ゆるやかな起伏のある大地と広大な田園景観の保全

ゆるやかな曲線を描く起伏のある地形を大切にし、広がりのある田園景観を保全します。また、これらの背景となり、安らぎやアクセントを与えている鎮守の森などの平地林と、屋敷林で囲われた落ち着いた集落の景観を保全します。

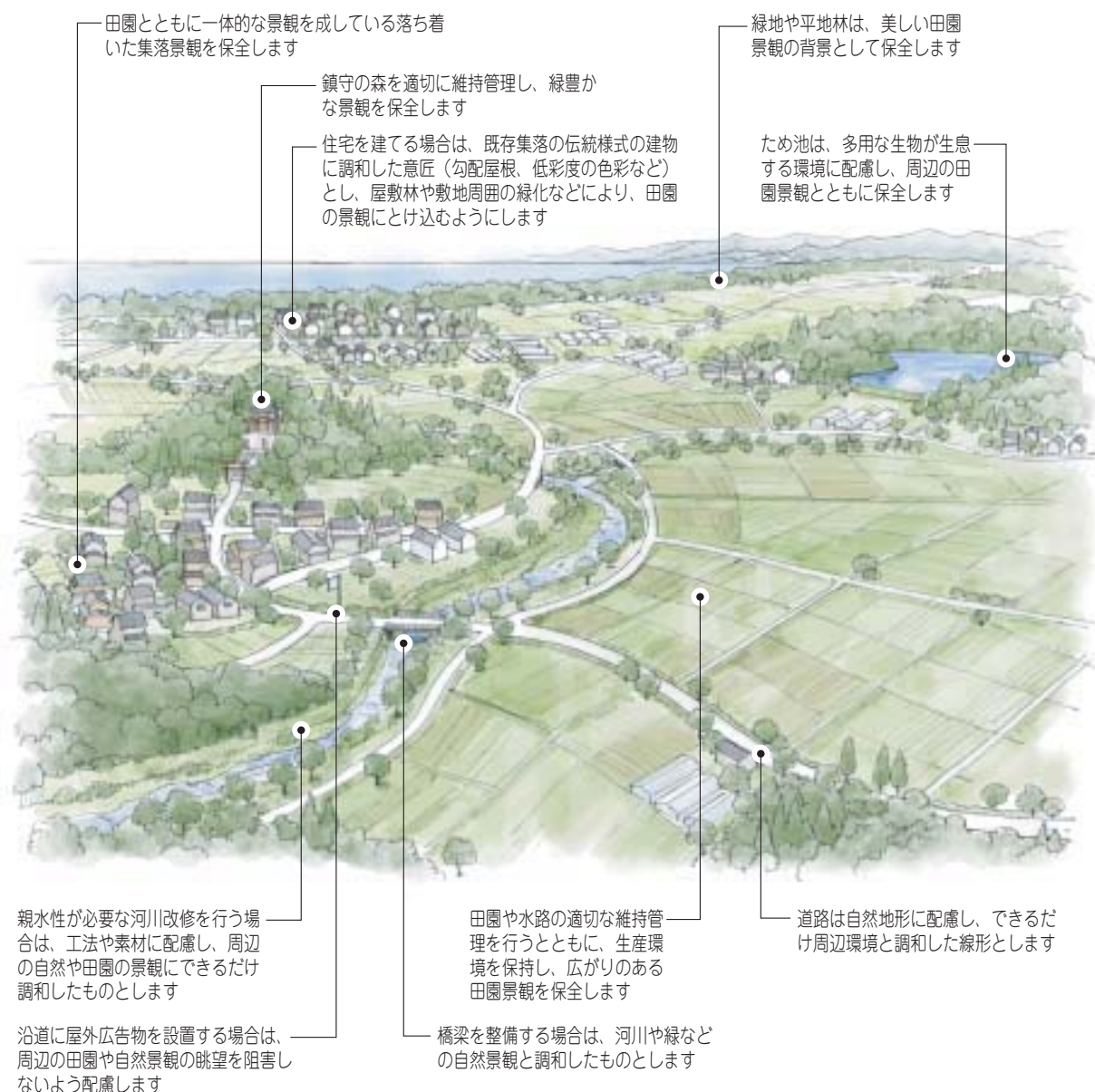
人工物は、広がりを分断せず、土と緑にとけ込むよう配慮します。



■ ゆるやかな起伏のある大地に広がる田園(杉山町)

■景観配慮イメージ図

※この図の場所は、地域全体の特徴的な景観を集約して表現した仮想のものです。図中に示した配慮事項は、方針を実現するための一例です。



■要素別の景観形成の配慮事項

	景観要素	景観形成の配慮事項	主な景観資源
自然景観	河川	○多様な生物が生息する豊かな河川景観を保全します。 ○親水性が必要な河川改修を行う場合は、工法や素材に配慮し、周辺の自然や田園の景観にできるだけ調和したものとします。	梅田川
	湿地	○貴重な湿性植物が生息する天伯湿地は、周辺の森や田園の景観とともに保全します。	天伯湿地
	巨木・名木	○巨木・名木は、周辺の自然景観や社寺などの歴史的景観とともに保全します。	野依八幡社のシダレザクラ 龍源院のお薬附イチョウ
歴史景観	旧街道・ 歴史的なまち並み	○旧二川宿は、歴史的に重要な建造物の保全や修復を行うとともに、これらに調和した沿道建築物のまち並み景観を形成します。	旧二川宿
	文化財等	○二川宿本陣などの歴史的な建造物は、適切な維持管理を行うとともに、旧東海道や周辺の歴史的景観とともに保全します。	二川宿本陣 清明屋 駒屋 一里山の一里塚
	神社仏閣	○点在する神社仏閣は、適切な維持管理を行うとともに、これらに調和した周辺の景観を形成します。 ○鎮守の森を適切に維持管理し、緑豊かな景観を保全します。	東観音寺 二川八幡社 大岩神明宮 野依八幡社
生活景観	住宅地	○田園とともに一体的な景観を成している落ち着いた集落景観を保全します。 ○宅地造成を行う場合は、自然地形に沿った区画割とし、擁壁の表面処理や緑化などに工夫し、既存集落の景観と調和させます。 ○住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、屋敷林や敷地周囲の緑化などにより、田園の景観にとけ込むようにします。	—
	公園・緑地	○緑地や平地林は、美しい田園景観の背景として保全します。 ○ため池は、多様な生物が生息する環境に配慮し、周辺の田園景観とともに保全します。	総合動植物公園 万場緑地 反茂池 沢渡池 七股池 平地林

	祭り・伝統行事	○歴史的な祭りの開催地は、祭りの背景にふさわしい景観を形成します。	二川八幡社祭 (山車が出る祭)
産業景観	道路	○道路は自然地形に配慮し、できるだけ周辺環境と調和した線形とします。 ○防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし、周辺の自然や田園の景観に調和した意匠（低彩度の色彩など）とします。 ○橋梁は、河川や緑などの自然景観との調和に配慮します。 ○沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の田園や自然景観の眺望を阻害しないよう配慮します。	国道 259 号 国道 259 号バイパス 国道 23 号バイパス
	鉄道・駅	○高架構造物などの鉄道施設は、周辺の景観に調和するよう配慮します。	二川駅 JR 東海道新幹線 JR 東海道本線 豊橋鉄道渥美線
	商業・業務系	○田園の周辺で店舗や事務所などを建てる場合は、周辺の景観に調和するよう配慮します。	—
	工業系	○敷地内の緑化で潤いを出し、周辺の景観と調和するよう配慮します。 ○住宅地が隣接する場合は、建築物や工作物を住宅地の景観と調和した意匠（落ち着いた素材や色彩など）にするとともに、敷地周囲の緑化に心がけます。	—
	農業系	○田園や水路の適切な維持管理を行うとともに、生産環境を保持し、広がりのある田園景観を保全します。 ○遊休農地 [*] は、景観作物の作付けなどにより、田園景観に配慮します。	広大な田園地帯 (キャベツ畑など)
	大規模施設	○大規模な建築物を整備する場合は周辺の集落や田園の景観から突出しないようにし、施設の分棟化などにより長大感を軽減させます。また、既存集落に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、敷地周囲の緑化などにより、田園の景観にとけ込むようにします。 ○大規模な工作物を整備する場合は、工法や素材、色彩などに配慮し、緑化を施すなど、周辺の自然や田園の景観にとけ込むようにします。	—

※印のある用語は巻末に解説を掲載しています。



(6) 海の景 ～表浜沿岸地域～

■ 景観特性

アカウミガメが産卵に訪れる美しい砂浜と常緑広葉樹の海岸林により形成されています。西に向かうにつれて、外海の荒波と風が長い年月をかけてつくりあげた荒々しい海食崖かいしょくがいが見られます。

また、海岸からは、遠州灘（太平洋）を一望することができ、自然の雄大さを感じさせます。



■ 渚から水平線の眺め

■ 地域別の景観形成方針

美しい砂浜と海岸林が続く雄大な自然景観の保全

アカウミガメの産卵地となっている貴重な生態系のある美しい砂浜と、海食崖の上につながる常緑広葉樹林の雄大な自然景観を保全します。

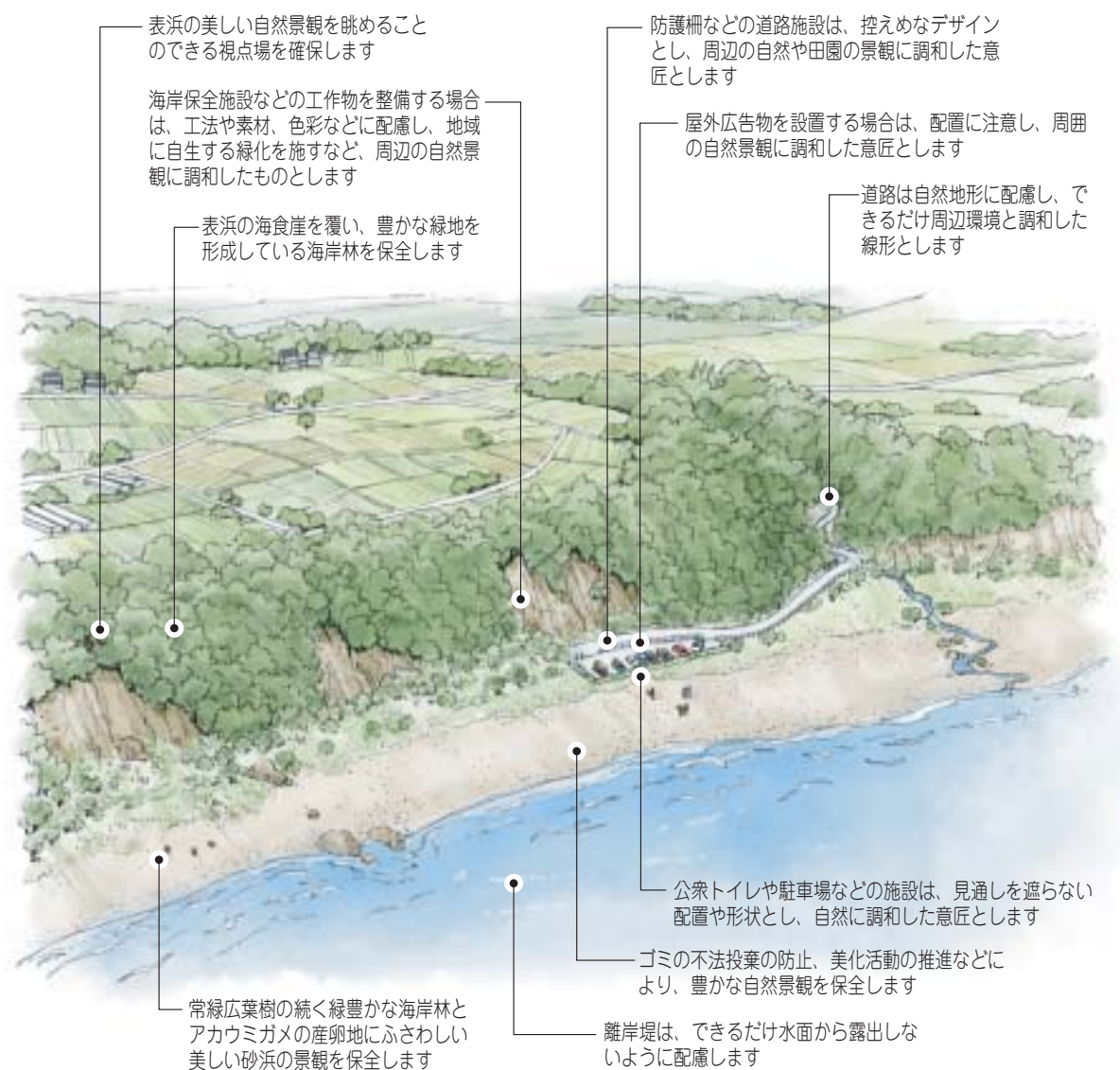
人工物は、周辺の自然景観に調和するよう配慮します。



■ 砂浜と海岸林が続く表浜海岸

■景観配慮イメージ図

※この図の場所は、地域全体の特徴的な景観を集約して表現した仮想のものです。図中に示した配慮事項は、方針を実現するための一例です。



■要素別の景観形成の配慮事項

	景観要素	景観形成の配慮事項	主な景観資源
自然景観	海浜	<ul style="list-style-type: none"> ○常緑広葉樹の続く緑豊かな海岸林とアカウミガメの産卵地にふさわしい美しい砂浜の景観を保全します。 ○ゴミの不法投棄の防止、美化活動の推進などにより、豊かな自然景観を保全します。 ○表浜の美しい自然景観を眺めることのできる視点場を確保します。 ○原則として海浜に屋外広告物は設置しない。やむを得ず設置する場合は、配置に注意し、周囲の自然景観に調和した意匠（眺望を阻害しない形状、低彩度の色彩など）とします。 	砂浜 海食崖 海岸林
	住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸林と田園につつまれた落ち着いた集落景観を保全します。 ○宅地造成を行う場合は、自然地形に沿った区画割とし、擁壁の表面処理や緑化などに工夫し、既存集落の景観と調和させます。 ○住宅を建てる場合は、既存集落の伝統様式の建物に調和した意匠（勾配屋根、低彩度の色彩など）とし、屋敷林や敷地周囲の緑化などにより、海岸林や田園の景観にとけ込むようにします。 	—
生活景観	公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ○表浜の海食崖を覆い、豊かな緑地を形成している海岸林を保全します。 	高塚緑地
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ○道路は自然地形に配慮し、できるだけ周辺環境と調和した線形とします。 ○防護柵などの道路施設は、控えめなデザインとし、周辺の自然や田園の景観に調和した意匠（低彩度の色彩など）とします。 ○沿道に屋外広告物を設置する場合は、周辺の自然に調和したものとします。特に、海岸に下りる道路では、砂浜と太平洋の眺望を阻害しないよう注意します。 	国道42号
産業景観	農業系	<ul style="list-style-type: none"> ○田園や水路の適切な維持管理を行い、生産環境を保持することで、海岸林と一体となった田園の景観を保全します。 ○遊休農地[*]は、景観作物の作付けなどにより、田園景観に配慮します。 	—

	漁業系	○舟置場の施設は、周辺の自然に調和するよう心がけます。	二川漁港 高豊漁港
	大規模施設	<p>○海岸保全施設などの工作物を整備する場合は、工法や素材、色彩などに配慮し、地域に自生する緑化を施すなど、周辺の自然景観に調和したものとします。</p> <p>○離岸堤は、できるだけ水面から露出しないように配慮します。</p> <p>○公衆トイレや駐車場などの施設は、見通しを遮らない配置や形状とし、自然に調和した意匠（低彩度の色彩、落ち着いた素材など）とします。</p>	—

